

令和4年4月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
4月	26日	油流出	大豆2丁目	個人宅	灯油 約5リットル	道路側溝	<p>ホームタンクから灯油が流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。</p> <p>周辺に置いた簾が倒れ、ホームタンクの開閉レバーに接触して緩んだことが原因であった。</p> <p>新たな流出はなく、生活環境への影響はない。</p>

令和4年5月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
5月	12日	その他	中郷区板橋 地内	事業場	処理排水 不明	水路	事業場の污水処理施設が故障中であるとの通報を受け、関係機関が現地調査を行った結果、汚濁排水が確認されたため、市は故障機器の早急な修繕等の対応を指示した。 生活環境への影響はない。
5月	23日	油流出	安江地内	不明	不明 不明	戸野目川	戸野目川に合流する排水樋門から、油膜らしきものが流出しているとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行ったが原因は特定できなかった。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年6月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
6月	22日	油流出	高津地内	事業場	灯油 推定5リットル	道路側溝	地下タンクを点検中に、灯油の漏洩を確認したとの事業場からの通報を受け、関係機関が現地調査及び拡散防止措置を行った。事業者は調査を実施したが、漏洩箇所の特定ができなかった。調査により判明した漏洩量は僅かで、新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	13日	油流出	春日新田 地内	事業場	廃油 20~40リットル	水路	事業場内の貯留タンクから溢れた廃油が側溝へ流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 事業所内の廃油の取扱いの不注意が原因であった。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
7月	19日	油流出	中央5丁目 地内	車両	ガソリン 約10リットル	道路側溝	車両事故により、道路側溝にガソリンが流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 車両が跳ね上げた側溝のグレーチングが接ショックし、破損したタンクからガソリンの一部が漏洩した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
7月	23日	油流出	黒井地内	車両	軽油または灯油 約10リットル	道路側溝	車両事故により、側溝に軽油または灯油が流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 道路交差点部でタンクローリーと牽引車との接続が外れ、破損した配管から軽油または灯油が漏洩した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	26日	油流出	本城町地内	車両	ギアオイル 約5リットル	高田城外堀	トラクターからオイルが流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 劣化した高圧ホースからギアオイルが噴出し、側溝を經由して高田城址公園の外堀に流出した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年8月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
8月	26日	油流出	板倉区機織 地内	車両	エンジンオイル 2.7リットル	大熊川	軽車両が橋から転落し、破損したタンクからエンジンオイルが漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	7日	油流出	石橋2丁目 地内	事業場	軽油 10~20リットル	御館川	御館川に油膜が浮かんでいるとの通報を受け、関係機関が現地調査及び拡散防止措置を行った。 事業場の作業中の取扱い不注意による軽油の漏洩が原因であった。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
9月	20日	油流出	下門前地内 地内	車両	ギアオイル 約2リットル	雨水幹線	車両事故によりミッションオイルが側溝に流出しているとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。

令和4年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	4日	油流出	北田屋新田 地内	不明	不明 不明	農業用水路	上島排水機場周辺の水路に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行ったが、原因は特定できなかった。
11月	8日	油流出	三ツ橋新田 地内	車両	オイル 不明	農業用水路	車両事故により、幅約1mの水路に落ちた軽車両からオイルが側溝に流出しているとの通報を受け、関係機関が現地確認及び拡散防止措置を行った。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
11月	17日	油流出	高土町2丁目 地内	個人宅	灯油 0.1リットル	道路側溝	給油中に灯油が漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地確認を行った。 ポリタンクから給油中に、ホースが外れたため、ホース内の灯油が玄関にこぼれた。新たな流出はなく、生活環境に影響はない。

令和4年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	25日	油流出	鴨島1丁目 地内	車両	軽油 約1リットル	水路	トラックの燃料タンクから軽油が漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地確認と拡散防止措置を行った。 走行中のトラックが跳ね上げたグレーチングが燃料タンクに接触し、破損した燃料タンクから軽油が漏洩した。 新たな流出はなく、生活環境に影響はない。

令和5年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	8日	油流出	北本町4丁目 地内	不明	不明 不明	用水路	用水路に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を行い、油膜と灯油らしき臭いを確認したが、原因は特定できなかった。
1月	25日	油流出	大貫4丁目 地内	個人宅	灯油 推定84リットル	道路側溝	ホームタンクから灯油が流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認を行った。 ホームタンクから小分けした後にバルブが緩んでいたことが原因であった。 溢れた灯油は、概ね周辺の雪に吸収されたが、一部が道路側溝に流出した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
1月	25日	油流出	土橋地内	不明	不明 不明	水路	裏の水路に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を行ったが、油膜は確認されなかった。

令和5年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	2日	油流出	妙高市西菅沼 地内	個人宅	灯油 100 リットル	用水路	敷地内の池に油膜が浮かんでいるとの通報を受け、関係機関が現地確認を行った結果、ホームタンクから灯油を小分け中に、その場を離れたため、ポリタンクから灯油があふれて道路側溝に流出したことが判明した。 その後の流出はなく、生活環境への影響はない。
2月	16日	油流出	南城町3丁目 地内	個人宅	灯油 不明	道路側溝	空き家から油膜が流出しているとの通報を受け、関係機関が現地確認を行った結果、空き家のホームタンク底部が腐食し、灯油が滲んで油膜が漏れ出していることが判明した。 家屋所有者は、タンク残っていた約100Lの灯油を処分した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
2月	21日	油流出	寺町2丁目 地内	個人宅	灯油 不明	用水路	隣接する水路に油膜が流れており、油臭がするとの通報を受け、関係機関が現地確認と吸着マットによる処理を行った。 ホームタンクから灯油を小分けした後のバルブが緩んでいたことが原因であった。新たな流出はなく、生活環境に影響はない。